（別添資料１）

事業所名　SMILE CHILD KURA

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7 年　1 月　15 日

法人（事業所）理念		感謝の輪を広げ『ありがとう』が 溢れる社会を実現します		
支援方針		社会的な自立とコミュニケーションのプロを目指します。		
営業時間		10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	環境に合わせた衣服の着脱ができるようになる。自分でスケジュールを立てたり、時間を見て行動できるようになる。 忘れ物がないように自分で物の管理ができるようになる。 【スケジュール管理】【環境適応】 挨拶レク、ホワイトボードに掲示したスケジュール		
	運動・感覚	運動遊びで大きな運動をしたり、工作などで細かい手先の使い方などを養っていけるようにしていく。 身体の使い方だけでなく、姿勢や正しいやり方を知る。 【正しい体の使い方】【微細運動】 ・工作、外出（公園や体育館など）、		
	認知・行動	自分の荷物の整理整頓や自分たちが過ごしやすい環境を自分で整えられるようになる。 また、自分自身の考えや気持ちを文字や言葉で表現する力を養い、ものの見方や感じ方を他者と共有することができる。 【整理整頓】【人との距離感】【感情の表出の仕方】 ・こんなときどうする、掃除、良いところ		
	言語 コミュニケーション	相手の気持ち、自分の気持ちを知り、いろんな意見があるということを知る。自分と違う意見でも相手を否定せず受け入れられるようになる。 活動を通していろんな人と話をし、語彙力を増やしていく。 【お互いの気持ちを知る】【怒らず、否定しない】 ・ディベート、グループワーク、カードゲーム、		
	人間関係 社会性	おやつ買いなどを通して、社会とのつながりを持ちかかわりあう機会を作っていく。グループワークなどを通し、仲間で協力する力を培う。 安心した環境の中で、苦手なこと困ったことの発信ができるようになる。 【仲間で協力】【困りごとの発信】 ・おやつ買い、外出（公共の施設）、CHILDタイム		
家族支援		子育てを取り巻く環境について、ご家庭での困り事や様子、支援方法の共有等、随時ご家庭との連携を取り不安なく過ごせる環境づくりに努めている。	移行支援	ライフステージの切り替えの際などに、子どもさんやご家族の意向を踏まえ次の育ちの場での生活に向けた助言や支援を行ったり、関係者を交えての情報共有、連絡調整などを行ったりする。
地域支援・地域連携		地域の住民と事業所が協力し、福祉サービスを必要とする方が地域を構成する社会の一員として日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう努める。	職員の質の向上	支援を行う職員が高い倫理観を持ち正しい姿勢で良質な支援を提供できるよう、企業内研修や外部研修などに参加できる機会を設けている。
主な行事等		季節ごとの行事：七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、忘年会、ボーリング大会、お正月、節分、6年生を送る会		